

学校だより

令和6年4月8日



いちよう

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

令和6年度を迎えて

校長 石田 和男

今年は、桜の開花時期が平年よりやや遅く、本校では先週満開を迎え、桜の花びらが舞い、木々の葉が芽吹く春爛漫の様は、元気な子供たちを迎えてくれています。



お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本日、254名の新入生が入学し、2年生258名、3年生254名、生徒数766名、特別支援学級を含む計24学級で、本年度のスタートをきりました。

新しい中学校生活への夢や希望が満ち溢れた新入生。2, 3年生も一つずつ学年が進級し、それぞれの学年の役割に責任を感じ、緊張した中にも意気込みが感じられます。一人一人の生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、また様々な経験を通して大きく成長できるよう、全教職員で取り組んでまいります。本年度も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本校の学校教育目標等は、右のとおりです。

学校は、教科の学習だけでなく、人と人との関わりを学ぶ場でもあります。様々な体験を通して、そこから学びます。失敗を恐れず、失敗から学び、思考を止めずに、夢の実現に向けての努力を惜しまず続けてください。

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

目指す教師像

自分を高め、生徒一人一人の力を伸ばす教師

目指す生徒像

【知】夢を持ち、学び続ける生徒

【徳】感性豊かで、思いやりのある生徒

【体】心と体を鍛え、最後までやり抜く生徒

目指す家庭像

子供の良さを知り、愛し励ます家庭

目指す生徒像

未来を担う子供たちのよりい成長を願う地域

さて、日本人は昔から桜を愛でてきました。桜についての和歌も多く歌われています。

「ひさかたの 光のどけき 春の日に しづこころなく 花の散るらむ」

これは、平安時代の歌人：紀友則が桜の花びらが散っていく様子を詠んだ句で、古今和歌集に収録されています。日本人は、桜の花の咲き始め、満開の様子、そしてそれが散るはかなさ、それぞれに思いを巡らせ味わってきました。日本人が、情緒や奥深さを味わうことは「わび・さび」と表現され、英語でも通じる言葉となっています。日本人独特のこの感性は、美しいものを美しいと思える心、つまり、澄んだ心、落ち着いた心であり、世界に誇れるものではないでしょうか。日本人として、誇れる感性を大切に育てていきましょう。

変化の激しい時代をたくましく生き抜くための力を子供たちが身につけていけるよう、教職員一同、誠心誠意教育活動を進めてまいります。本年度も引き続き、保護者並びに地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。